

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績				
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	
Omini K		Omnia	13	13	0		46			元肥		8月~3月					8月~3月		
Mono Pota		Australian Fertilizers Ltd	12	12	61		0			元肥		8月~3月					8月~3月		
MAP		Australian Fertilizers Ltd	12	12	61		0			元肥		8月~3月					8月~3月		
Redox	Ca 18%	Australian Fertilizers Ltd	15	15	0		0			元肥		8月~3月					8月~3月		
Fetrilon Combi	微量元素	AgNova								葉面散布	10L	3月	1				10L	3月	1
Redox	酸化還元	Australian Fertilizers Ltd								葉面散布	25kg	3月	1				25kg	3月	1
Redox	酸化還元	Australian Fertilizers Ltd								葉面散布	状況により	9月	1				状況により	9月	1
Fetrilon Combi	微量元素	AgNova								葉面散布	250ml	10月	1				250ml	10月	1
Solu K(Campbells)	42.3%カリウム、18.2%イオウ	Campbells Fertilizer								葉面散布	1L	11月	1				1L	11月	1

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分で比較して 当地比		削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量		
実績使用量	非公開	

\*節減対象農薬

当地比		削減
節減対象農薬	使用回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	4	

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
生長調整	Farmoz Gibberellic Acid	ジベレリン		生長調整	3300	1000L	1月5月	2	2	3300	1000L	1月5月	2	2		
除草	Round up	グリホサートイソプロピルアミン塩		除草	100	1000L	1月4月	2	2	100	1000L	1月4月	2	2		
殺菌	Copper-OXY	酸化銅		殺菌	400	100L	4月	1	0	400	100L	4月	1	0		

備考:

糖度基準 10度  
 肥料は、上記の表の混合剤を使用し、土壌分析により決定。具体的数字は非公開。  
 防除は、一般的基本量と時期です。実際は状況により変わる場合があります。

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月		
3月		
4月		
5月	収穫	収穫
6月	収穫	収穫
7月	収穫	収穫
8月	収穫	収穫
9月	収穫	収穫
10月	収穫	収穫
11月		
12月		

収穫開始:	平成27年5月
終了:	平成27年10月